



FC岐阜

ソナエル東海：防災（自助）の大切さを感じよう！ 1/2



Story

2020年9月1日「防災の日」。この日、東海地区の6つのJクラブが中心となって“備えるを、たのしもう。”をコンセプトとした「ソナエル東海」が発足しました。6クラブで共通した活動はもちろん、それぞれのクラブでも防災に関連した活動を推進していくこうということでスタートしました。FC岐阜は岐阜県内すべての地域がホームタウンになっていることもあります、まず岐阜県と連携した活動ができないかと考えました。岐阜県の防災を管轄する危機管理部危機管理政策課に活動の趣旨を相談したところ、とても興味を持っていただき、ぜひ一緒にやりましょう！というお返事をいただきました。ちょうど岐阜県では「災害から命を守る岐阜県民運動」を推進しようとしていたところであり、多くの人が集まるFC岐阜のホームゲームの日に防災啓発イベントを実施することとなりました。また、9月1日のソナエル東海発足のリリースをみたスポンサー企業様（名鉄協商株式会社）からも、防災キットの取り扱いがあることからオリジナルの防災キットを作りませんか？というご提案があり、FC岐阜のオリジナル商品を入れた防災キットも併せて販売することが決まりました。11月8日のホームゲーム開催日には、岐阜県が芝生広場で、3密回避などコロナ感染防止に

配慮した「コロナ対応仕様の避難所体験展示」や地震や風水害に掛かる基礎知識、災害から命を守るために必要な情報一式をまとめた「防災パネル展示」、防災備蓄品や県産品の当たる「お楽しみ抽選会」を実施しました。また、グッズ売店ではFC岐阜×ソナエル東海のオリジナル防災キットを販売し、ステージイベントではその防災キットの中身を紹介するコーナーなどを開催しました。さらにスタジアム内の大型ビジョンでは、FC岐阜の選手が登場して「LINE岐阜県公式防災アカウント」の登録を呼びかける動画などのCMが放映されました。スタジアムに来た方がいろいろな場面で防災に触れることで、防災に対する意識が高まつたのではないかと思います。来場したサポーターの方からは「防災って大事だと改めて思った。」といった声が聞かれました。また、岐阜県の担当者からも「防災はとっつきにくい分野だけど、こうして多くの方が集まる場所でイベントができたことで、少しでも多くの人に体験してもらえて良かった。」と言っていただきました。防災は1回やって終わる活動ではないので、これからも引き続き定期的に連携して活動に取り組んでいきたいと思います。

活動詳細情報はこちら



<https://www.fc-gifu.com/news/game/64529.html>



FC岐阜

ソナエル東海・防災(自助)の大切さを感じよう！ 2/2



活動場所

岐阜メモリアルセンター

カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ



11 住み続けられるまちづくりを

協働者

企業、行政

協働者名

岐阜県危機管理政策課、防災課、名鉄協商株式会社

